

1	会議名	令和元年 第6回教育委員会会議 会議録	
2	開催日時	令和元年5月16日（木）午前10時00分～午前10時42分	
3	開催場所	4階 会議室41・42	
4	出席委員	教育長 守山 敏晴 委 員 西村 宏、廣田 登志子、村尾 利勝、牧中 マリコ	
5	欠席委員	なし	
6	会議出席者	教育次長 : 重岡 章夫 由宇支所長 : 本田 薫 玖珂支所長 : 弘中 勝 周東支所長 : 加藤 勝巳 錦支所長 : 下村 豊 教育政策課長 : 三浦 成寿 教育政策課英語教育推進室長 : 熊田 恵美 教育政策課英語教育推進室次長 : 永木 健一 教育政策課施設班 班員 : 岡部 展明 学校教育課長 : 大谷 弘喜 学校教育課主幹 : 鈴川 芳智 青少年課長 教育センター所長兼務 : 福屋 憲道 文化財保護課長 徴古館館長兼務 : 後 詳子 生涯学習課長 中央公民館長兼務 : 原田 広子 中央図書館長 : 山本 圭子 科学センター館長 : 林 孝造	
7	会議従事職員	教育政策課 : 大黒屋 誠、善本 恵美	
8	会議録署名委員	西村 宏、廣田 登志子	
9	議事日程		
	日程第1	会議録署名委員の指名について	
	日程第2	報告第5号	所管事項について
会議の概要 教育長	・ただいまから令和元年第6回岩国市教育委員会会議を開会します。はじめに、日程第1会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員は、西村委員と廣田委員にお願いします。 ・本日の議題は、日程第2「報告第5号 所管事項について」以上でございます。		
由宇支所長	・それでは、日程第2「報告第5号 所管事項について」を議題といたします。これについては、協議会形式で進めたいと思います。各担当部署から先に配付しております行事予定表について、補足、または所管事項に関する懸案等があれば説明をお願いします。		
玖珂支所長	・由宇・通津地区において毎日のようにクマの目撃情報が出ておりますので、児童の登下校の対応等に大変苦勞しております。 ・先月ご報告させていただきました玖珂中におけるサルの出没事案について昨日現在で確認したところ、幸いなことにそれ以降の目撃情報は確認されていないとのことでした。しかし、由宇地区ではクマの目撃情報も報告されておりますので、当地区におきましても引き続き警戒		

学校教育課長	を行っていききたいと学校とも確認しているところです。 ・ 4月につきましては、入学式等無事に終わっております。大変お世話になりました。6月につきましては、そこに書いてあるとおりですが、「運動部活動の在り方に関する方針」の資料を差し込んでいますのでご覧いただけたらと思います。今後、岩国市としては10月の完全実施に向けて、情報提供をしていきます。今、皆様をご覧になっているものが県教育委員会が出しました中学校版のリーフレット、裏側には概要版という形のものです。既に全中学校にこれを配布しておりまして、これに基づきまして移行期間として各学校が取り組んでいます。リーフレットの方をご覧いただきますと真ん中にポイントというところがあると思います。今回のこの取組では、適切な休養日等の設定というのが大きな柱になります。休養日は週当たり2日以上、平日を1日、週末を1日、そういった形で計画を立て実施することが一つの大きな目的になります。週末に2日間活動した場合は休養日を他の日に振り替えて取るようにするということになっております。活動時間につきましては、平日は2時間程度です。多くの学校が16時15分から18時15分、そして18時30分には総下校というような形で取り組んでおります。これまでも2時間程度の取組でした。休日等は、3時間程度です。これを例えば土曜日に9時から12時までの3時間程度の活動を行い、準備と後片付けを含めて半日の日程の中で行えるように各学校取り組んでいるところです。出来るだけ短時間で合理的かつ効率的な活動を行うということですが、練習試合、公式戦もありますので3時間程度で終わる日ばかりではありませんが、各学校、計画的に取り組んでいるという状況です。なお、このリーフレットは運動部活動ということですが、吹奏楽を中心とした文化部の活動においてもこれとほぼ同じ内容で、今、作業が進められております。岩国市におきましては岩国市立中学校部活動運営方針としまして、裏にあります1から6までの方針に準じまして県が作成している概要版に基づいて、現在校長会や市の中体連と協議を重ねているところです。また、お時間がある時にご覧になっていただきたいと思います。それが1件目でございます。 ・ 2件目は、先程来クマのお話がありました。今朝も市民メールで朝早く黒磯団地であったり、通津の幼稚園付近で出没したりという情報を受けまして各関係学校長は警察と朝の登校について相談をしております。中洋小校長によりますと5時頃電話が入ったということです。学校においては、そういう情報を受けまして職員への緊急連絡をしまして、朝の見守りや児童の受け取り、そして保護者や地域の見守り隊への連絡を踏まえて安全な登校が完了するように取り組んでおります。なお、下校におきましては、例えば神東小や由西小のように小規模校
---------------	---

	では保護者の車で送迎をお願いしています。中大規模校においては、保護者の引き取りや先生方が子供たちを集団で下校させながら、なるべく一人になりにくい環境のところまで見守りながら送る。そして保護者や地域の方にも緊急メール等で連絡をして見守りをしてもらいながら取り組んでいるということです。今朝ほど、農林関係の職員と打ち合わせをしまして、今、由宇方面から灘中校区方面までがよくメールが入っておりますので、特にその辺りについての周知徹底をお願いしたいと考えております。何か特別に効果的な対応ができないかと聞いたところ「まずは注意喚起をしてマニュアル等に基づいた対応に取り組んでもらうしかない。」とのことでした。 ・最後に交通安全指導です。他県において大変痛ましい事故がありまして、各学校には交通安全指導をこれまで以上にしっかり指導してもらうようお願いをしているところです。各学校の保護者や見守り隊にも、改めて注意喚起をお願いをして、朝夕の見守りの強化を各学校が工夫を凝らしてやっております。
青少年課長・教育センター長	・前回、4月の教育委員会会議の時に廣田委員さんから10連休の過ごし方のご指摘をいただきました。すぐに、校長等に連休の過ごし方についてメールにてお伝えしました。そのこともあり、10連休は特に大きな事件や事故もなく過ごせました。今後長期の休み等に向けても、そういうきめ細やかな指導を行っていきたいと思っております。
科学センター長	・報告事項が1つあります。4月10日に国立天文台を専門とする国際チームがブラックホールの撮影に成功しておりますが、今、国立天文台の阪本先生に、8月25日に公演をしていただくよう調整しております。調整が出来、実現する運びとなった際には職員の応援をお願いするかもしれませんがよろしくお願いいたします。
教育長 村尾委員	・全体を通して御意見・御質問がありましたらお願いします。 ・先ほど学校教育課長が言われた各市で高齢者による交通事故についてですが。滋賀県大津市においては、交差点で信号待ちをしていた園児13人と職員3人の列に普通自動車に接触した軽自動車がつっ込み、園児が2名死亡し、13人がけがを負う大事故が起こり、全国的に影響を与えているところです。先生方は園児を守ろうと前に3人、後ろに園児を立たせていたが、その死角をぶつかった車が突っ込んでいき、本当ショックを受けています。学校においても登下校や遠足等行事で校外に出る際、引率や見守り隊も含めて万全の体制で校外活動をしなくてはいけないと思うのですが、今までの振り返ってみると交通事故に対する意識が非常に低いような気がします。危険予知能力も含め、指示に従うという訓練も必要になってくると思います。また、危険箇所の徹底した排除並びに改善も必要になってくると思います。事故が起こったからということではなく、これを契機に1人でも人命を救うために、各

学校教育課長	学校に対して、子どもの交通安全指導も含め、安全指導の徹底と危険箇所の排除に向けて努力していただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。 ・ありがとうございます。村尾委員さんの言われるように、修学旅行、自然学習、遠足そして宿泊体験的な活動、今各学校盛んに取り組んでおります。現在、熱中症対策が昨年度来ずいぶん行き届いてきておりますが、安全指導については、2日前に、再度通知を出したところです。今、特に子供たちの移動に係わって国道沿いや県道沿いを歩く時に、小学校においては保護者や地域の方に教員だけでは手が届かない、目が届かないところに立っていただくとか、一緒に歩いて現地に行っていたりとか、そういった取組がなされております。それから、危険箇所については小中合同の安全マップの作成しておりますが、今言われましたように具体的な改善をさらにしていかなければなりません。そして新規のところについては保護者、地域の方々と一層共有していくために、各学校を改めて指導をしていきたいと思っております。意識が低いという部分につきましては、やはり授業を実施する折に事前指導をしっかりするように改めて校長に対して指導し、校長から各教員、そして子供や保護者の指導を徹底して参りたいと思います。ありがとうございました。
村尾委員	・それに関連して、地域ボランティアが朝の見守り隊や帰りの見守り隊などに、自治会の方や民生委員も安全パトロールに出られていると思います。今回の事故では先生方が前に出ても子供が轢かれた。昨日も保育園児が砂場で遊んでいるところに車が入ってきて、それを守ろうとして先生が足を骨折した。そのような事故も起こっています。地域ボランティアは、各学校からボランティア補償などのために名簿の提出を受けていると思いますが、保険対応がどのようになっているかとちょっと心配ですが、どうですか。
学校教育課長	・まず、朝夕の見守りについての保険ですが、これは以前から市のふれあい保険というものがあります。もう1つは県内の小中学生が県PTA連合会に全員加入する保険があり、その中にPTA活動においては保障があることと併せて、そのPTA活動に協力していただいた方々に対しても資料を提出していただいたら対応出来るということがあります。また、社協さんのボランティア活動保険があり、地域の方は多くその保険に入っている方もいらっしゃると思います。そういったことで洩れのないように努め、そして子供たちに係わり怪我をされたという時には、生涯学習課と連携して対応するようにしていきます。 ・名簿作成については年度毎に作成するようになっており、洩れがあっては困るので、子供たちのために関わっていただく方々については、各学校洩れのないよう徹底して、そうした保険に加入するように指導し

村尾委員 学校教育課長 廣田委員	ていきたいと考えております。 ・緊急メールという安心安全メールを各学校作っておりまして本人のご了解をいただきながら、そういう名簿作成においても進んできておりますので、再度学校の方に指導していき子供たちのために活動していただいている方々にご迷惑を掛けないようにしていきたいと考えております ・これで岩国市の安全対策は万全ですね。 ・はい、そうしたいと思います。 ・学校教育課から、運動部活動の在り方に関してのリーフレットをいただき、説明にもありましたが、去年あたりから随分懸案事項となっていました、ようやく岩国市におかれましても、国のガイドラインと県教委のリーフレットに沿って岩国市の実態、あるいは学校の実態に合わせて進み始めたことに大変安心しております。この狙いは、教職員の働き方改革と、成長期の生徒がバランスの取れた生活を送るということです。運動部については、活動時間が平日 2 時間程度、学校の休業日 3 時間程度と数字目標がありますので、それに向けて進んでいくと思います。課題にもありましたが、リーフレットの裏の「5 学校単位で参加する大会等の見直し」で、文化部においてもいろいろなコンクールや大会など全国につながっていくなど組織がらみのものがあるので、単独で改革というのは難しいかと思いますが、運動部に準じて外部団体と連携を取りながら進んでいくことを願うばかりです。岩国市は、昨年度、各学校各教室にクーラーを設置しましたが、文化部も運動部に劣らずハードなので、熱中症になったりしていますので、ぜひ生徒のバランスの取れた生活を送るためにも文化部の推進も運動部に倣ってよろしく願います。今、進捗状況はどうですか。
学校教育課長	・文化部においては、吹奏楽部を中心とした文化面の話し合いが進められています。今さまざまな関係機関から意見を集約し、文化部についても夏を目途に方針が出ると聞いております。岩国市としましては、方針を出す時には運動部も文化部も子どもたちの豊かな成長を願うのは一緒ですので、同じように方針をきちんと出したいと考えております。今後も、校長会としっかり連携を取りながら進めたいと思っております。文化部においても、大変長時間の練習というのが課題になっていますので、今後調整する必要があると考えております。
廣田委員	・よろしくお願い致します。それからもう 1 点、青少年課長から言われましたが、10 連休の週は大変お世話になりました。所長さんを初め、各学校にきめ細かな指導を周知徹底していただいて、事故も無く連休も明けたという大変感心しております。各連休を有意義に過ごすために、学校にばかりお願いするのではなく、子供の趣味や特性などを生かした受け皿の充実も大事なかなと思います。そこで、お伺いしますが、

	各支所において、この連休中に子供向けの講座をされてましたら、ご紹介していただけたらと思います。
由宇支所長	・ 特にないです。
玖珂支所長	・ 特にないです。
周東支所長	・ 特にないです。
錦支所長	・ 特にないです。
中央図書館長	・ 中央館だけですが、5月3日4日は開館しましたが、特に講座等は実施していません。
廣田委員	・ 連休中に図書館に行ったら2日間開館されてました。周知が足りないのかなと思っていたのですが、子供たちもいました。それから、科学センターも講座があったのではないですか。開館しておりましたよね。
科学センター長	・ はい。開館はしていませんが、講座については、科学クラブの中の貝クラブが由宇の潮風公園近くの海浜で貝のアウトドアでのフィールド学習をしています。講座を1つだけ開催しています。
廣田委員	・ 特に、中央公民館や各支所の活動は大人向けや高齢者向けが多く、子ども向けというのがあまりありませんが、科学センターや図書館のように連休中ずっと休みではなく、真ん中を子ども向けに1日から2日開館するだけでもとても有意義なので、お願いしたいと思います。また、学校を通じてぜひ周知をされるといいかなとも思います。色々ご協力をありがとうございました。無事連休を終えたこと、大変嬉しく思っております。
西村委員	・ 教育政策課の6月の行事予定に、「G T E C受験」がありますが、このやり方や内容をご説明していただけたらと思います。「3日から12日」とありますが、1週間あるのですか。
教育政策課 英語推進室室長	・ 6月3日から7月12日の間で、各学校で都合の良い日を設定していただき、大きい学校岩国中学校以外は基本技能を概ね一日で終わらせます。学校への説明会を4月24日に行い、実施日を決めて行います。
西村委員	・ これは各中学校単位で行うんですか。皆違う問題なのですか。
英語推進室室長	・ いえ、同じ問題です。
西村委員	・ 日にちがずれていても大丈夫ですか。塾で、子ども同士が問題内容について話して情報が漏れたりといったことは大丈夫ですか。
英語推進室室長	・ 問題は回収しますし、問題数も多いですので、多少のことはあるかもしれないのですが、大丈夫です。
西村委員	・ そうですか。G T E Cの受験は年に何回あるのですか。
英語推進室室長	・ 1回です。
西村委員	・ どの県でもこういうやり方をしているのですか。一箇所に集まって受験するのではなくて、学校内で受験するのですか。
英語推進室室長	・ 市全体でやるというのはそんなに多くなく、学校で受けるというようなテストです。

西村委員 英語推進室室長 牧中委員	・そういうものなんですね。英検とはちょっと違うのですね。 ・はい。 ・生涯学習課にお伺いします。家庭教育支援チームについてですが、4月25日に県教委の主催で第1回家庭教育支援チーム連絡会議がありましたが、それについての報告はありますか。
生涯学習課長	・会議がありましたが、担当が出席したので、中身が詳しくわかりません。岩国市で昨年度まで平田中学校区で実施しておりました訪問型の家庭教育支援事業ですが、成果があったということで、今年度から単市の予算を入れていただいて全市展開という方向でやっています。県では昨年川下中で山口型の家庭教育支援事業を実施し、その実例が冊子となっており、説明があったと聞いております。
牧中委員	・実は私、保護者の方で出席したのですが、川下中学校「チームほっとちゃん」、これが地域教育ネットの基盤を生かした家庭教育の支援チームということで県のガイドラインに紹介されていました。他にも岩国市では5チーム紹介されていました。内各地の家庭教育支援チームの方々が「今の課題は保護者との連携がなかなかとりにくく、来られる方はいつも同じ人なので本当に困っている方に支援をするのは、訪問型が有効なのではないか。」という話が出ていたので、訪問型の岩国市の平田チームは高く評価していただきました。川下中も、岩国市内は地域教育ネットの基盤があるので、もっとたくさんチームができて国のほうの登録もしてもらえたらなと思いました。
生涯学習課長	・平田は小学校と中学校でしたが、実際に効果が高いのは小学校だろうということで、昨年度末に、各小学校に説明に回り、新年度各小学校からチームに一人か二人の支援員を推薦していただくよう依頼しております。この4月以降、今13校ぐらい推薦が出ております。今までの実績が冊子になっているので、どういうふうに進めていくのか、家庭に伺った時の心構えなどの研修を7月頃に行う予定です。学校が緊急性を感じているところについては、もう支援員が動いているところもありますが、始まりは、7月の20日以降になろうかと思います。山口型につきましては冊子を配布して周知を図っています。
村尾委員	・最後に1点、科学センターについてお伺いします。日本は科学立国で、とにかく科学技術を追求していかなければ日本の将来はないと言われています。「理科好きの子供を育てる」ということで科学センターもそれに寄与しているわけですね。私の記憶では130人程度のクラブ員の募集がありましたが、これも例年に比べてだんだん落ちてきているのですか。
科学センター長 村尾委員	・若干減少傾向にはあると思います。 ・私が指導主事の時、もう25年くらい前になりますが、その頃に比べたら子供の数は半減くらいしています。それで、減ってきているのが若

	干ということは優秀ですね。指導員の数は約 50 名と書いてありますが変わっていないと思います。きめ細やかな理科指導を徹底しようということで職員の数を変えずに募集するということは非常に良いと思います。先程報告がありましたが、世界に先駆けてブラックホールの撮影に成功した国際チームにおいて国立天文台が大きな役割を果たしていますが、その国立天文台の先生を呼ぶのでしょうか、すごいことだと思います。どんどんこういった企画をして、各学校がその思いを汲み取り伝わっていけばまだまだ科学センターは伸びると思います。これからは、今の体制のままではなく防府市青少年科学館ソラールくらいの新しい科学センターに生まれ変わってほしい。それぐらい意気込みを持って林館長にも頑張ってもらいたいと思うのですが、いかがでしょうか。
科学センター長	・大学、企業などの研究機関との連携を推進し、時代の先端をいく研究に関わる講座など頑張って企画・運営していきたいと思います。
村尾委員	・中学生は若干名しかいないから小学生が主に対象になっているわけですから、小学生に興味・関心を持たせる企画が必要で、大学などでも小学生がわくわくするような科学イベントを実施しているところがあるようです。また、テレビでは、何とか先生というのがサイエンスショーをやっていますよね。
学校教育課長	・それは、でんじろう先生ですね。
村尾委員	・そう、でんじろう先生です。また、最近は女子版のでんじろう先生といった形で、東大の院生の五十嵐さんという方がテレビなどでサイエンスショーをやっています。そういった方々を呼んであっと驚くような講座を開いて、これはどういうふうな原理で出来ているのだろうかという論理的に追求する興味・関心を持てる子供の育成につながる企画をやって下さい。期待しています。
教育長	・他にないようでしたら、以上で報告第 5 号を終わります。 ・本日の議題は以上でございます。それでは、次回の教育委員会会議の日程について、事務局からお願いします。
教育政策課長	・次回は、本日の議事日程の下部にも記載しておりますが、6 月 26 日本庁 2 階特別会議室にて、午前 9 時 30 分から所属長会議を、午前 10 時教育委員会会議を開催いたします。
教育長	・これもちまして、令和元年第 6 回岩国市教育委員会会議を終了します。

岩国市教育委員会会議規則第 16 条の規定により署名する。

教育長 守山 敏晴

教育委員 西村 宏

教育委員 廣田 登志子